

高病原性鳥インフルエンザ発生防止のための 追加対策①

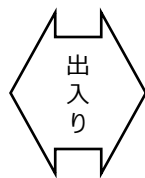
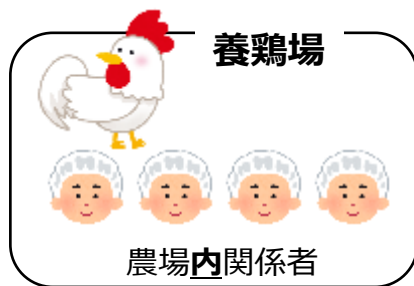
11月21日に開催された鳥インフルエンザ防疫対策に係る緊急全国会議で、今シーズンの発生農場で、**工事業者等の外部入場者で靴の履き替え等の飼養衛生管理が不十分であった事例**が示されました。

対策ポイント

- ✓ 農場外関係者も含めた飼養衛生管理の徹底
- ✓ 不要不急の工事の延期

日ごろから農場内関係者（従業員等）の飼養衛生管理について徹底していただいているところですが、**外部から来訪される方が農場に入る際にも衣服や靴の交換や消毒等を徹底し、例外が生じないよう**今一度ご確認ください。

また、不要不急の工事については、可能ならシーズン後まで延期していただきますようお願いいたします。



右写真)
農場入口に設置された、外来者用の長靴、衣服、
車両用フロアマット

長崎県中央家畜保健衛生所 TEL : 0957-25-1331

防疫課メールアドレス : s34510@pref.nagasaki.lg.jp

※土日祝日の休庁日は上記電話番号に連絡願います。



高病原性鳥インフルエンザ発生防止のための追加対策②

今シーズンの発生農場で、乾燥し**塵埃が舞いやすい環境下**において**換気した後、入気口周辺に死亡鶏が分布**していた事例がみられています。

高病原性鳥インフルエンザに感染した野鳥の排せつ物や羽毛には一定量のウイルスが含まれており、鶏舎周辺の塵埃にウイルスが付着して換気の際に塵埃とともに鶏舎内に侵入します。発生防止のためには**鶏舎周辺の塵埃が鶏舎に侵入しないような対策**が必要です。

以下の追加対策を実施願います。

対策ポイント

- ✓ ウィンドウレス鶏舎入気口のフィルター設置
- ✓ 開放鶏舎周囲の消石灰＋散霧消毒

週1回程度、**鶏舎周囲に消石灰を散布し、石灰の上から逆性石けん液を軽く散霧する**ことで、鶏舎周辺のウイルス濃度を下げ、塵埃の飛散を軽減できます。また、石灰を散布しない日でも、乾燥し**塵埃が舞いやすい天候の日**には、同様の散霧消毒、あるいは散水を実施しましょう（カーテンを開ける場合は開ける前に実施すると効果的です）



左写真)
ウィンドウレス鶏舎
入気口フィルター



右写真)
鶏舎周囲の石灰
消毒

長崎県中央家畜保健衛生所 TEL : 0957-25-1331

防疫課メールアドレス : s34510@pref.nagasaki.lg.jp

※**土日祝日の休庁日は上記電話番号**に連絡願います。

